

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス東近江			
○保護者評価実施期間	令和7年12月11日		～	令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年12月11日		～	令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して自分らしく楽しめる施設	利用者の『したいこと』に寄り添い、主体的に活動に参加できるよう環境を整えている。	利用者同士で意見を話し合い、活動を提案できる場を設ける。
2	季節に合わせた壁面や飾りを制作している。	壁面などのデザインを毎回変えるようにして、利用者が飽きないようにしている。	季節に合わせたイベントも取り入れ、利用者がより季節を感じ取りやすいようにしている。
3	利用者の発達に合わせたレク活動を積極的に取り入れている。	レク活動の中に療育的観点を取り入れたり、他に利用者とのコミュニケーションを図れる内容にしている。	TanQを活用し、さらにレクリエーションの幅を広げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ない。	平日等、利用者の利用時間と地域の方との予定が合いづらいため。	地域へのアプローチの範囲を広げる。
2	送迎時以外に保護者とのコミュニケーションの機会が少ない。	共働き家族が多いため。	忙しい中でもコミュニケーションがとれるような手段を模索する。
3	活動内容の情報発信が乏しい。	ブログやおたよりはあるが周知が出来ていない・頻度が少ない。	ブログの周知に力を入れていく。